

敦賀市議会

議会だより

9月
定例会

CONTENTS

- 審議結果一覧・・・・・・・・・・ 2
- 賛否が分かれた議案一覧・・・・・・・・ 3
- 常任委員会審査報告・・・・・・・・ 3～8
- 特別委員会中間報告・・・・・・・・ 8～10
- 一般質問・・・・・・・・・・ 11～15
- 議会日誌、12月定例会の日程・・ 16



敦賀市立角鹿小中学校

総合落成式開かれる



音訳(CDに録音)された議会だよりもありますので、ご希望の方は社会福祉協議会(電話 0770-22-3133)までご連絡ください。

審議結果一覧

9月8日から10月11日まで開催された令和5年第4回定例会では、全22件の議案を審議しました。

議案番号	件名	付託委員会	結果
第54号議案	令和5年度敦賀市一般会計補正予算（第5号）	予算決算	10/11 可決
第55号議案	令和5年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第1号）	予算決算	10/11 可決
第56号議案	敦賀駅東口駅前広場の設置及び管理に関する条例制定の件	産経建設	10/11 可決
第57号議案	敦賀駅東口駐車場の設置及び管理に関する条例制定の件	産経建設	10/11 可決
第58号議案	敦賀市白銀駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正の件	産経建設	10/11 可決
第59号議案	敦賀市手数料徴収条例の一部改正の件	総務民生	10/11 可決
第60号議案	令和4年度敦賀市歳入歳出決算認定の件	予算決算	10/11 認定
第61号議案	令和4年度市立敦賀病院事業決算認定の件	予算決算	10/11 認定
第62号議案	令和4年度敦賀市水道事業利益剰余金処分の件	産経建設	10/11 可決
第63号議案	令和4年度敦賀市水道事業決算認定の件	予算決算	10/11 認定
第64号議案	令和4年度敦賀市下水道事業利益剰余金処分の件	産経建設	10/11 可決
第65号議案	令和4年度敦賀市下水道事業決算認定の件	予算決算	10/11 認定
第66号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件	—	10/11 同意
第67号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件	—	10/11 同意
第68号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件	—	10/11 同意
第69号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件	—	10/11 同意
報告第13号	継続費精算報告の件（令和4年度敦賀市一般会計）	—	9/8 報告のみ
報告第14号	健全化判断比率の報告の件	—	9/8 報告のみ
報告第15号	資金不足比率の報告の件	—	9/8 報告のみ
報告第16号	公立大学法人敦賀市立看護大学の令和4年度業務実績に関する評価結果の報告の件	—	9/8 報告のみ
請願第3号	「健康保険証を持ってない人」をつくり出す健康保険証廃止の中止を求める請願	総務民生	10/11 不採択
請願第4号	消費税インボイス制度の実施中止を求める請願	総務民生	10/11 不採択

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを詳細に審査する場です。
※「予算決算常任委員会」からが常任委員会審査報告になります。

常任委員会審査報告

賛否が分かれた議案一覧

賛成・反対の双方があった議案等については以下のとおりです。（賛成：○、反対：×、欠席：欠）

議案番号	会派名 議員名	市政会								市民クラブ			日本共産党 敦賀市会 議員団		公明党		峻正会		無	無	無			
		河瀬太治	高城庄佐	縄手博和	川端耕一	浅野好一	大石修平	中野史生	田中和義	馬淵清和	有馬茂人	山本武志	豊田耕一	今川博	松宮学	山本貴美子	中道恭子	大塚佳弘	三田村峻	北條正	吉田隆昭	籠太一郎	橋本彬穂	
第54号議案		○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
第56号議案		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第57号議案		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第60号議案		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号		×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第4号		×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○

※議長は採決に加わっていません。 無：無所属

予算決算 常任委員会

〔第54号議案〕
令和5年度敦賀市一般会計補正予算（第5号）

質疑

◎パートナースhip宣誓制度推進事業費

問 この制度導入の具体的な時期と、導入後に受けられるサービスはどのようなものがあるのか。

答 導入時期については、本市として11月1日を考えているが、県の制度導入がそれより早くなる場合には、県と市で対応に差が生じないように準備を進めたいと考えている。また、導入後に受けられるサービスは、市営住宅の入居の申込み、税証明の申請、市立敦賀病院での入院、医療に関する同意などを予定している。

◎道の駅整備検討事業費

問 調査発注に当たり、敦賀の道の駅として必要と考える機能や併設施設等、どのような条件や仕様で発注する考えであるか伺う。

答 近年、道の駅は、地方創生の拠点

として、観光や防災など求められる機能は多岐にわたっており、今回の調査では、市内での代替性や需要といった要素を洗い出した上で、敦賀市に必要な機能を限定せずに一から検討したいと考えている。

したがって、本事業では、敦賀市の現況を整理分析し、課題の抽出や、道の駅機能のメリット及びデメリットの検討を行う基礎的な調査と、市内外の関係者へのヒアリング等を通じて、つくるとしたらどのような機能を持たせるかという具体的な調査を行う予定である。なお、一次産業発展の一助となるよう、一次産業を活性化させる機能という内容も仕様書に入れたいと考えている。

◎敦賀駅東口駅前広場等管理費

問 年間の管理費は幾らになるのか。また、年間どれぐらい収入があり、一般財源は幾ら必要となるのか伺う。

答 駅前広場に関しては年間約3400万円の管理費を見込んでいる。収入については、确实なところは23万円だけであり、約3400万円が、市の持ち出しと認識している。一方、東口の駐車場については、約1900万円の収入を見込み、駐車場の管理費は年間300万円と算定して

おり、約1600万円がプラスになると見込んでいる。駅前広場と東口駐車場を合計すると、約1800万円が一般財源から持ち出すことになると考えている。

◎西公民館建設事業費

問 測量箇所の現況測量と用地測量の具体的な場所を伺う。

答 松栄町地係の現況測量の場所は、現在の市立敦賀病院の第3駐車場用地で、敦賀病院の西側にあるローソンの道を挟んで向かい側の駐車場である。その土地を西公民館の移転先として予定している。次に、三島町地係の用地測量は、敦賀病院駐車場の代替地として新たに取得したいと考えている用地であり、個人の土地のため具体的な場所はお答えできないが、病院周辺で現在検討している。

討論

反対 敦賀駅東口駅前広場等管理費については、本来はJR西日本が管理すべきものであり、賛成できない事業が含まれていることから反対。

賛成 物価高騰への配慮の予算、パートナーシップ宣誓制度、道の駅の検討を含めきめ細かい補正予算となつてい

るので賛成。

採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔第60号議案〕

令和4年度敦賀市歳入歳出決算認定の件

質疑

◎移住定住促進事業費

問 移住者全体の数としては、年々増加の推移にあると思うが、寄与している施策は何と分析評価しているか伺う。

答 社会動態は依然として減少が続いているが、転入者数については増加している。これに寄与した主な施策は、移住定住促進事業や定住促進住宅改修等支援事業といった直接的な移住者数の増加に貢献した施策のほか、企業誘致やotta(オッタ)の供用開始など、雇用者数の増加につながる施策なども寄与しているものと考えている。一つの施策というより、様々な施策によって、令和4年の転入者増につながっているものと考えており、今後も全庁的な取組の中で、人口減少対策に取り組んでまいりたいと考えている。

◎コミュニティバス利用促進事業費

問 令和4年度におけるIC車載器開発の進捗を伺う。

答 本事業は嶺南全体での取組として、各市町において開発したIC車載器に、嶺南広域行政組合が構築したシステムを組み込む流れとなっており、令和4年度中にはIC車載器の開発及び製造まで行った。今年度はIC車載器にシステムを組み込み、バスへの設置を行い、新幹線敦賀開業までにキャッシュレスを導入する予定である。

◎重層的支援体制移行準備事業費

問 重層的支援体制推進会議及びつるがつなぐ会議により決定された事項を伺う。

答 重層的支援体制推進会議では、重層的支援体制整備事業に係る新規事業の立ち上げや要綱の制定など、多機関協働による重層的支援体制の構築に向けた方針決定を行った。また、つるがつなぐ会議では、複合的な課題を抱えたケースについて、支援機関で協議を行い、各支援機関の支援内容を明記したプランの作成、評価を行った。

◎みなと賑わい推進事業費

問 クルーズ船の寄港による経済効果として、具体的な数値は出ているのか。

答 県が試算した数値であるが、ウエステルダム寄港の経済効果として、約3500万円の直接的な効果があった。

討論

反対 一定所得の子育て家庭の児童手当が廃止されたことや食文化ストーリー創出・発信事業費は必要がなかったと考えることなどから反対。

賛成 物価高騰に対応するきめ細やかな予算や北陸新幹線敦賀開業に向けての周辺整備などの予算が執行されていることについて評価したいことから賛成。

採決 賛成多数

認定すべきものと決定

決算認定

第60号議案 令和4年度敦賀市歳入歳出決算認定の件ほか3件の決算案件についていずれも認定すべきものと決定した。

総務民生 常任委員会

〔第59号議案〕

敦賀市手数料徴収条例の一部改正の件

質疑

問 市に飼い犬の登録をしていない方もいると思うが、今回の改正により登録数が増える見込みはあるか。

答 犬の登録として、飼い主の情報など基礎情報の国への登録と、自治体への狂犬病の登録という2種類の登録が必要であるが、基礎情報の登録については、令和4年6月より、ペットシヨップやブリーダーに対して犬へのマイクロチップ装着が義務化されており、ほとんどの犬が登録されることになる。

今回の改正により、国に登録された基礎情報が、システムを経て本市にも提供されることになるため、狂犬病の登録漏れの解消にもつながるものと考えられる。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔請願第3号〕

「健康保険証を持っていない人」をつくり出す健康保険証廃止の中止を求める請願

意見

マイナンバーカードに関しては、自治体やデジタル庁での情報ミスなど問題が多く、個人情報保護の観点からも立て直しが必要であると考えられるが、一方で、健康保険証の一体化により個人が受ける利益も大きいため、中止ではなく延期等により問題を解決しながら進めるべき。

討論

反対

マイナンバーカード保険証利用登録者数は、9月10日時点で6743万人を超えており、今後利用が拡大することは確実だと考えるが、医療機関や薬局でのシステム導入が追いついていないことなど課題がある。その一方で、医療費控除の確定申告が自動入力できることや、医療費が高額になった場合の手続きが簡素化できることなどメリットも少なくないため、メリットを享受しつつ、課題にはしっかりと向き合うスタンスで取り組むべきである。

採決

賛成なし

不採択とすべきものと決定

〔請願第4号〕

消費税インボイス制度の実施中止を求める請願

意見

インボイス制度の導入により、公平、公正に消費税が納税されることについては賛成すべきであるが、大きなダメージを受ける小規模事業者等の免税事業者に対する支援制度をしっかりと議論していかなければならないと考える。

意見

インボイス制度の導入については、10月1日の開始に向けて準備が進められており、この段階での中止は逆に混乱を引き起こす恐れがあるため、弱者への支援を見据えながら進めるべきと考える。

討論

反対

インボイス制度の導入により、年間2400億円の税収が入り、本来あるべき姿に戻るものである。痛みは伴うが、免税事業者等の弱者の救済については、国、県、市がしっかりと注視しつつ、制度は実施すべきである。

賛成

インボイス制度により約2400億円の税収が見込まれるとのことだが、実施にあたり約4兆円の経費がかかると言われている。それほど

の税金を使ってまで制度を実施する必要はないと考える。

採決

賛成少数

不採択とすべきものと決定

産経建設 常任委員会

〔第56号議案〕

敦賀駅東口駅前広場の設置及び管理に関する条例制定の件

質疑

問 市外の方が営利、営業、宣伝その他これらに類する目的で緑地広場等を使用する場合、使用料はどれだけ加算されるのか。

答 営業等に関わるものは使用料の1.5倍で、さらに市外の方の使用であれば、それに1.3倍するため、結果的に1.95倍となる。

問 使用料の区分に、ポスター等の掲示とあるが、どこに掲示できるのか。

答 駅前広場に設置しているキャノピーの壁柱に、B1サイズまでのポスターが掲載できる枠を設けており、そちらに掲示いただくこととなる。

問 緑地広場等の使用料で1平方メートルにつき1時間あたり5円とあるが、緑地広場の想定平米について伺う。

答 緑地広場は、最大で約190平米使用することが可能である。

問 駅西口の広場の管理運営は、指定管理者である株式会社エコシステムが行っているが、駅東口の広場では指定管理者制度の導入について検討されなかったのか。

答 駅西口の広場は、オルパークと併せて同じ指定管理の手法で運営管理することにより、相乗効果を発揮できるだろうという判断のもとで指定管理者制度を導入している。今回、駅東口については、まずは直営でもって開業をトラブルなく迎え、また、何か発生した際にはレスポンスをよくしていきたいと考えている。

今後は様子を見て、指定管理者制度の導入にメリットを見いだせるようであれば、そのときに考えていきたい。

**討
論**

反対 駅東口駅前広場については、今後、敦賀市の多額の管理費負担が見込まれることから反対である。

賛成 駅東口駅前広場の利用方法について条例制定することは、心地よく利用いただくため、また、公平性を保つためにも重要なことであると考え、賛成する。

**採
決** 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔第57号議案〕

敦賀駅東口駐車場の設置及び管理に関する条例制定の件

**質
疑**

問 駐車料金について、駅前立体駐車場及び白銀駐車場では1時間以内は無料で、1時間を超えると1時間ごとに100円であるが、駅東口駐車場では30分以内は無料で、30分を超えると30分ごとに100円となっている。なぜ、料金体系に違いがあるのか。

答 駅東口駐車場の駐車料金の無料時間を1時間ではなく30分とした理由として、駅東側の駐車場利用者は、1日以上の長時間利用者を想定しており、短時間の利用料金を駅西側より高くすることによって、短時間利用者を駅西側に誘導したいと考え、このように設定した。

問 障害者の駐車スペース3台分について、幅3・5メートルで、乗降用スペースがあるのは片側のみか。乗降用スペースは両サイドにあるべきだと思いが、どのような経緯でこのような区画線になったのか伺う。

答 バリアフリーの指針に基づき、駐車スペースを3・5メートル幅で設定している。隣の車が重ならない場合は、両側の乗降用スペースを共用いただくことも可能であると考えている。

なお、障害者の駐車台数3台分については、バリアフリー法の規定に基づき確保している。

**採
決** 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第58号議案〕

敦賀市白銀駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正の件

**質
疑**

問 プリペイドカードを利用することで得になるのか。

答 プリペイドカードについては、現行、6000円相当分を5000円で販売しているものを、今回の改正に伴い、7000円相当分を6000円で

販売することになり、割引率は約17%から約14%に下がっている。

しかし、今回、白銀駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正し、これまでの1日当たり最大料金1800円から700円に改めることにより、7000円相当分のプリペイドカードを10日分の回数券に置き換えると、これを6000円で購入できるため、事実上1日当たりの駐車料金を700円から600円に下げることができるという形に体系を直させていた。

問 otta(オッタ)まで行っても、白銀駐車場の場所が分かりにくい。利用いただくために、何か対策は考えているのか。

答 今回整備する駅東口の駐車場も合わせて、駅東・駅西合わせて少なくとも3か所の駐車場に「満車」「空車」「混雑」と、混雑状況を示すような看板の設置を予定している。

また、白銀駐車場を案内する看板も何か所かに設置したいと考えている。

**採
決** 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

行政視察報告

総務民生常任委員会（10月16日～18日）

総務民生常任委員会は10月16日から18日まで行政視察を行いました。

1日目は群馬県富岡市のデマンド型乗合タクシー「愛タク」について視察しました。愛タクは市内全域を毎日午前8時から午後5時まで運行しています。乗降予約のある停留所間を複数乗客の相乗りにより、ICT（情報通信技術）を使って最も効率的なルートで運行する「区域運行方式」を採用しています。運賃は、市民は誰でも1回の乗車が100円です。

2日目は埼玉県志木市でデマンド交通について視察しました。運営主体は志木市内のタクシー会社3社で貸し切り制を採用しています。利用料金は300円、500円、1000円の三段階制を採用しています。利用者数は令和4年度で44837件となっています。

3日目は神奈川県藤沢市の藤沢サスティナブルスマートタウンを視察しました。住宅560戸すべてに太陽光パネル、蓄電池、エネファーム、ホームエネルギーマネジメントシステムを備えて各戸

でエネルギーマネジメントを行っています。街全体でもコミュニティソーラーの設置やカーシェアリング、シェアリングバイク、郵便物の集中配送を行い、CO₂排出削減や再生可能エネルギー利用の目標数値を掲げ、環境意識の高い住人が集う仕組みを構築していました。



藤沢サスティナブルスマートタウンにて

産経建設常任委員会（10月23日～24日）

産業建設常任委員会では、敦賀市のまちづくりの参考にするため、10月23日から24日にかけて、山口県周南市、京都府綾部市を行政視察しました。

周南市の「道の駅ソレーネ周南」は、国道2号沿いに立地し、山陽自動車道徳山西ICから自動車で約1分と近く周南市の西の玄関口として、道路利用者が快適に休憩できる場所を提供し、道路・観光の情報と周南ブランドを全国に発信しています。また、周南市のアピール・農林水産業の振興や地域の活性化を目的としています。地元11団体による協議会が指定管理者として運営しており、収入はテナント料とテナント手数料で、令和4年度の年間売り上げは7.2億円・年間客数は70万人です。指定管理料として非営利部分の管理費のみが支払われています。

平成28年1月に「道の駅」内に高齢者等の相談窓口を設置、バス停の整備を行い地域住民の生活サポート体制を構築し重点「道の駅」にも選定されています。また、令和3年には防災と災害支援拠点となる「防災道の駅」にも選定されています。道の駅の設置を検討中の敦賀市においても大いに参考になりました。

綾部市では、就農支援として、親元で就農を希望する方を対象とした最大120万円を支給する「農業後継者就農支援事業」や京野菜の生産者育成、大規模生産により農業生産基盤の確立を図る「農業生産法人株式会社農夢」の設立等、綾部市独自の支援にも取り組んでいました。今後は、京都府フードテック構想において綾部市に農業を集約させる計画があり、全国的な課題に取り組む姿勢は大いに参考になりました。



周南市「道の駅ソレーネ周南」見学の様子

文教厚生常任委員会（10月16日～18日）

文教厚生常任委員会では、今ある課題に対応することを目的とし、10月16日から18日にかけて奈良県生駒市及び葛城市、兵庫県芦屋市、三重県伊賀市を行政視察しました。

生駒市と伊賀市では、各分野が連携して包括的な支援を行う「重層的支援体制整備事業」について調査。生駒市においては、市内各地に相談窓口を設けるほか、地域のつながりの中で伴走支援を行う「わがごと会議」を開催するなど、「まちぐるみ」で取り組みを進めていました。

また、伊賀市においては、相談の取りこぼしがないよう取り組んでいることや市と社会福祉協議会が緊密に連携しつつ、「自立支援」に関しても多くの機関が参加していました。両市の事例を参考に、敦賀市に適している方法を見極めながら提言していきたいと思えます。

次に芦屋市では、「芦屋市コミュニティスクール（以下、コミスク）」について調査し、小学校区単位で設置する「コミスク」においては、学校を開放し、自治会や町内会、老人会、子ども会などの各団体と文化・スポーツ団体などがともに連携し、

それぞれ協力しながら盛んに活動されていることを確認しました。少子高齢社会における地域活動、生涯学習のあり方として大変参考になりました。

最後に、葛城市では、調理規模が敦賀とほぼ同じで平成27年に新設、運営を開始している「給食センター建替」について調査し、整備に関する基本方針から始まり、「安全で安心」の学校給食運営や衛生・設備管理（アレルギー対応含）、地産地消の取り組みまで説明を受けました。敦賀市においては今後、建替えに向けた詳細検討に入ることから、今回の視察で得たことを生かしていきます。



葛城市学校給食センターにて

議会運営委員会（8月17日、10月27日）

議会運営委員会では、議会改革の一環として検討を進めている「タブレット導入」及び「委員会のインターネット配信」について、8月17日に越前市と坂井市、10月27日には滋賀県長浜市を行政視察しました。

「タブレット導入」について調査した越前市では、導入目的にあった効率的且つ迅速な議会運営と議案審議につながっていることや一般質問の場でもタブレットを使用し資料をモニター表示するなど、有効に活用されていることを確認しました。

また、坂井市では、完全ペーパーレス化を最大のメリットとしつつ、日常の議員活動においても、市民からの質問に対し、タブレット内の写真や図面などを利用して説明することができるようになったとの評価を伺いました。

長浜市ではまず「タブレット導入」に関し、議員の利便性のみならず、傍聴者への配慮を含めた議場の設備更新を行っていること、「委員会のインターネット配信」では、常任委員会や議会運営委員会、特別委員会を配信したことにより、市民より委員会に対するご意見をいただけるようになったとの状況

を説明いただきました。

視察で得た知見を踏まえ、敦賀市議会の議会改革に資するよう、今後の検討に生かしてまいります。



長浜市にて

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

● 原子力発電所
特別委員会 ●

日本原子力発電株式会社関係

質疑

問 敦賀発電所の敷地近傍にある浦底断層について、市としての対応を伺う。

答 浦底断層については、敷地近傍にあることから、地震の揺れをどういう形で評価すべきかについて、原子力規制委員会も主要な論点として挙げており、審査が進めば確認されることになるので、今後の審査の内容について注視していきたい。

その他の関係

質疑

問 地域振興に係る拠点整備に向けた具体的なロードマップについて、試験研究炉以外は具体的に示されていないと考えるが、市としてどう向き合っていくのか。

答 1000名の雇用維持を含めて、

国や原子力機構に取り組んでいただくことが大前提と考えており、サテライトキャンパスの誘致や企業の試験研究炉の利用促進によって、産学一体となつた地域振興を今後も引き続き求めていきたい。

問 ロードマップについて具体的に示すよう要求すべきではないか。

答 来年度の概算要求において、設計計画の策定や地質調査といったものが具体化される予定で、設置許可の申請時期については、令和6年中に示すとの回答があつた。来年度に向けて具体化されていくため、それにあわせて具体的なロードマップを求めていくという形になる。

原子力防災関係

質疑

問 今年開かれる原子力防災訓練の敦賀市の関わり方について伺う。

答 福井県原子力総合防災訓練は、10月20日から21日にかけて2日間実施される予定である。高浜発電所1号機において発災したという想定で、敦賀市

としては、高浜発電所のUPZであるおおい町からの避難住民を受け入れる住民避難訓練を実施する予定である。

問 今回、敦賀市は受け入れる側となるが、避難訓練を市民に見てもらおうなど研修のような機会はあるのか。

答 関係者ということで、例えば防災士会や看護大学の学生などにも見ていただきたいと考えている。

問 今回の訓練で、敦賀市としてどういったことを目標にしているのか。

答 避難を受け入れる側としての課題をつかんでいくことにより、敦賀市の県外の避難先である奈良県にも伝えることができると考えている。また、避難の手順をしっかり確認することにより、円滑な避難につながるものと考えている。

新幹線対策

特別委員会

北陸新幹線の整備状況について

報告 各工事等の進捗について軌道

電気、機械工事は順調に進んでおり、9月25日で駅舎の建築工事が完了したこと、6月議会の時点では進捗率の低かつた配線器具取付や改札機の設置などの工事は大幅に進捗していること、9月23日に試験車両の走行が実施され、「イースト・アイ」が敦賀駅に初入線したことなどの報告があつた。

質疑

問 現時点での懸念事項はあるのか。

答 今のところ、鉄道運輸機構から懸念事項の報告は受けていない。

駅前広場整備について

報告 予定どおり8月から排水構造物等の工事を進めていること、2次盛土については、緑化空間の一部を除いて8月末に完了したこと、10月からは工事進入ルートを切り替え、緑化空間の堤防上の盛土や駐車場の工事を進めていく計画であることなどの報告があつた。

質疑

問 工程表では工期が3月までとなっているが、工事自体は2月で完了し3月には完成検査を残すのみとなるの

か、もしくは工事の完了が3月に入ってしまうのか。

答 実工程については、2月中の完成を目指している。完成検査等、書類等の手続が残るため3月にも入ってしまうが、現場については2月末で何とか仕上げたいと考えている。

並行在来線について

報告 ハピラインふくいの運賃について、JRの現行運賃と比較し、普通運賃、通勤定期、通学定期が値上がりすること、近隣先行県の鉄道会社の状況として、北陸新幹線開業6年目に運賃を値上げする計画のところ、利用者数の増加や経営改善策に取り組んだ結果、黒字経営となったため、それぞれ運賃の値上げを延期しており、ハピラインふくいにおいても、利用促進策に取り組み、利用者数の増加につなげていきたいと考えていること、車両のデザインが決定したこと、ハピラインファンクラブの会員募集などの報告があった。

質疑

問 近隣先行県の鉄道会社が黒字経営

となった理由をわかる範囲で伺う。

答 パークアンドライドとして駅の駐車場を拡充したこと、新駅の設置、ダイヤ編成として特急が走らなくなることにより、通勤通学の時間帯での増便が可能であることが黒字になった要因だと考えている。

廃棄物対策 特別委員会

本市と美浜町との一般廃棄物の共同処理について

説明 ごみ収集車両の円滑な運搬のため整備を進めていた市道原9号線の工事が完了し、現在、ごみ収集車の運搬ルートとして使用している。

新清掃センター整備事業について

説明 10月ごろから事業者が追加のボーリング調査を実施する予定である。また、旧櫛川最終処分場水処理施設の解体工事を実施しており、年内を目途に工事を完了する予定である。

質疑

問 ボーリング調査が追加になった理由は。

答 この事業の入札公告に際し、市でもボーリング調査を行っているが、DBO方式で設計、建設、運営を一体的に任ずため、事業者側の判断で、より精度の高いボーリング調査を行うことになった。

問 自動精算機での支払い方法はどうなるのか。ICカードも使えるのか。

答 キャッシュレス対応も考えているが、事業者と協議中である。

新一般廃棄物最終処分場整備事業について

説明 9月補正予算では物価高騰や賃金水準の変動に伴うインフレスライド条項等の適用や、設計変更による増額などを計上し、来年度への工期延長が必要なため、令和6年度への繰越しの予算の設定を行っている。

質疑

問 どれぐらい硬岩があったか。また、ボーリング調査は十分したが、不慮の

ことであったのかなど、ボーリング調査に関する見解は。

答 全体の掘削量約30万立方メートルに対し、硬岩は約4万立方メートルであった。ボーリング調査は、平成29年度の基本計画、基本設計業務で実施しているが、実際に工事を進める中で、広大な敷地であることや、掘り下げていったときの岩の高さも一定ではなく、ポイント的に高い位置で岩が出るのは、ある程度仕方のない部分もあると感じている。工事の遅れにもつながっているため、今後はより明確に分かるように考えていく必要があると考えている。

問 インフラスライドでどの程度の割合で増加しているのか。

答 土木工事は5・4%、埋立処分棟建設工事は13・7%、浸出水処理施設の工事は2・3%増加している。埋立処分棟については、鋼材関係で約20%程度、単価の増加があり、当該工事の鉄筋・鉄骨工事の比率は約50%弱で、この鉄筋・鉄骨の増加率が大きく影響している。

項目一覧

◎山本 貴美子

- 1 公立幼稚園の必要性について
- 2 給食センターの建替について
- 3 新幹線開業に伴う負担について
 - (1) 敦賀市の負担増の問題
 - (2) 在来線の運賃値上げの問題
- 4 マイナ保険証の問題について

◎大塚 佳弘

- 1 豪雨災害からの敦賀市の防災・減災について
 - (1) 内水氾濫（道路冠水等）の解消取り組みと課題
 - (2) 避難所（指定避難所・福祉避難所）の開設対応と課題
- 2 ユニバーサル社会（共生社会）を目指す福祉政策等について
 - (1) パートナーシップ宣誓制度の意義と今後の展開
 - (2) 多文化共生推進と外国人への日本語教育推進の課題
 - (3) 障害者差別解消法からのバリアフリー進捗と課題

◎三田村 峻

- 1 性的マイノリティ政策の今後について
- 2 市役所職員の給与について
 - (1) 市役所職員の給与
 - (2) 市内民間事業者の給与
 - (3) 経済活性化に向けて
- 3 タクシー事業者への補助金について

◎浅野 好一

- 1 金ヶ崎周辺整備について
 - (1) 現在の金ヶ崎周辺の状況
 - (2) 金ヶ崎周辺整備構想と金ヶ崎周辺施設整備基本計画
 - (3) 鉄道と港との関連
 - (4) 歴史ある敦賀との関連
 - (5) ふだん使いの金ヶ崎
 - (6) 金ヶ崎周辺への動線
 - (7) 金ヶ崎周辺のさらなる構想

◎河瀬 太治

- 1 敦賀まつりについて
 - (1) ごみ問題
 - (2) 仮設トイレ
 - (3) 交通規制
 - (4) 観光案内
 - (5) お神輿
 - (6) 民謡踊り
- 2 魚食の給食について
- 3 運動施設について
- 4 武道館の設備について

◎豊田 耕一

- 1 職員の職場環境づくりについて
- 2 犯罪被害者等支援条例について

◎松宮 学

- 1 インボイス制度導入について
- 2 金ヶ崎緑地へのオーベルジュ誘致について
- 3 原子力発電所の問題について
 - (1) 日本原電2号機の再稼働申請
 - (2) 避難訓練
 - (3) ヨウ素剤の事前配布

◎吉田 隆昭

- 1 防災力の強化について（その2）
 - (1) 内水氾濫への対策
 - (2) 要支援者対象の避難訓練
 - (3) 笹の川堤防の雑木伐採
 - (4) 来迎寺橋の着工の見通し
- 2 地域公共交通計画の基礎業務調査について
- 3 保育士の最低基準の引き上げについて

◎橋本 彬穂

- 1 生理の貧困について
 - (1) 学校での生理用品の配布状況
 - (2) 学校での月経についての教育
 - (3) 公共施設のトイレへの生理用品の設置
- 2 つるが割について

◎縄手 博和

- 1 サッカー場の必要性について
 - (1) 敦賀市の小中学生の現状
 - (2) 陸上競技場の現状
 - (3) 道の駅との併設
- 2 高校を卒業して敦賀で就職される方への支援について

◎山本 武志

- 1 次期総合計画について
 - (1) 計画策定に向けた基本的考え方等
 - (2) 検討体制、スケジュール
- 2 保育士のよりよい職場環境づくりについて
 - (1) 人員体制
 - (2) 業務の負担軽減

◎籠 太一郎

- 1 今後の介護福祉の在り方について その2
 - (1) 認知症基本法と認知症関連事業の現状と課題
 - (2) 介護人材不足問題
 - (3) 担い手の創出と処遇改善策

◎大石 修平

- 1 市役所の障がい者雇用について
- 2 市の花はぎと市の木まつについて
- 3 ふるさと納税について
- 4 市役所業務への生成AIの導入について

◎北條 正

- 1 西公民館移転と課題について
 - (1) 西公民館移転場所の決定の経緯
 - (2) 新しい公民館の設計
 - (3) 一部中央公民館的機能
- 2 市立敦賀病院について
 - (1) 地域医療構想と現状
 - (2) 市立敦賀病院の在り方
 - (3) 診療報酬加算
- 3 中池見湿地について
 - (1) 基本的な考え
 - (2) 管理運営
 - (3) 中池見湿地施設の保全
 - (4) 中池見の緊急時対応

◎高城 庄佑

- 1 ふるさと教育について
 - (1) 民謡踊りの伝承
 - (2) 若者の地域参加
- 2 敦賀市総合運動公園陸上競技場の利活用について
- 3 市立敦賀病院職員の待遇について



山本貴美子

(日本共産党
敦賀市会
議員団)

給食センターの建替について

問 給食センターの建替に伴い、自校式給食をなくし、全ての学校給食をセンター方式にする計画だが、自校式給食を残すべきと考えるが、いかがか。

答 あり方検討委員会でセンター方式に統一することが望ましいとの答申を受けて計画を進めている。

新幹線開業に伴う負担について

問 新幹線敦賀開業に伴い発生する敦賀市の負担はいくらか伺う。

答 敦賀駅東口駅前広場関連の経費、は3700万円、ハピラインふくの負担は5300万円である。

問 通勤・通学定期の値上げ分を、敦賀市が補助すべきと考えるが。

答 ハピラインふくいへの市の負担は運賃抑制を目的としており、税と料金との負担割合は整理されている。



大塚佳弘

(公明党)

豪雨災害からの敦賀市の防災・減災について

問 内水氾濫への長・短期取組について伺う。

答 今年度より3ヶ年計画で市街地下水路の現況調査を行い、浸水シミュレーションの結果から効果的な下水路整備の基礎資料を作成。また、既存水路の点検、清掃による流下能力の確保、水位監視の職員パトロールを実施する。

ユニバーサル社会（共生社会）を目指す福祉政策等について

問 県が進める多文化共生プランについて伺う。

答 敦賀市では、多文化共生の推進に向け、県の国際交流協会と連携した取組を行う。具体的には生活・日本語教育の相談対応をしている。また、国際交流嶺南センターなどと協力しながら、外国人住民の方の実態把握と、必要に応じた情報提供を行っている。



三田村峻

(峻正会)

市役所職員の給与について

問 人事院勧告に基づく初任給の賃上げ額、賃上げ後の初任給はいくらか。市内民間事業者の初任給は。

答 市役所職員に関して高卒は1万2000円増額の16万6600円、大卒は1万1000円増額の19万6200円である。民間事業者については把握していない。

問 結婚に関して、給与が多い場合と少ない場合とで未婚率において約4倍もの開きがあるというデータがある。また、市役所職員の勤勉な働きに対して特に若手において給与が少ないように思う。人口減に関して出会いの場を増やす等の対策も結構だが、お金を使う世代でもある若手職員の大幅な待遇改善をどうするか。

答 敦賀のみが賃上げをしても、市外に出ていくお金も多いため難しいとは思いますが、仕事に見合った給料というのは考えていかなければいけない。



浅野好一

(市政会)

金ヶ崎周辺整備について

問 金ヶ崎周辺等デザイン計画の進捗状況は。

答 これまでは、宿泊施設プラスレストランのオーベルジュだけ、かつ金ヶ崎緑地エリア内だけで検討をしていたが、さらにカフェ、スイーツ、マルシェといった複合施設として賑わいを作っていく、JR貨物用地もエリア内を含めて検討し方向性を拡大することで時間がかかっている。事業規模、採算性等の課題に対して民間開発事業者が主体となって検討を進めている。

問 敦賀駅から氣比神宮、金ヶ崎周辺へと誘導する案内サインの計画を伺う。

答 新幹線敦賀開業まちづくり推進会議のおもてなし部会において、観光客目線に立った案内サインの在り方を検討し、目立ちやすい柱や壁面に観光客が目的地を近くに感じられるように距離を表示するなど、例えば氣比神宮までの距離を表示することを考えている。



河瀬太治
(市政会)

敦賀まつりについて

問 敦賀まつりで商店街に設置しているごみ箱の片付けが各商店街の負担になっている現状について見解をお聞きしたい。

答 ごみ箱に関しては設置しないとごみが散乱する恐れがあり、各商店街振興組合に対し、設置と集積の協力を依頼した。来年度以降はごみの分別や集積を業者に委託することや参加者総出でごみ拾いを行う等、美意識の高いまつりの実現を研究したいと考えている。

問 ごみの収集をカラスの活動前にして欲しいと要望があったが、考えを伺う。

答 ごみの収集業者に収集時間の前倒しを交渉したが、対応不可と回答があり従来の時間となった。来年度以降は再度協議を実施する。



豊田耕一
(市民クラブ)

職員の職場環境づくりについて

問 市長の公約等もあり、仕事量が増加することになるが、ワークライフバランス実現の矛盾をどのように両立していくのか、市長の見解を伺う。

答 早期に改革推進プログラムを出し、理想的なワークライフバランスの実現に向けて、環境整備と意識改革に取り組んでいきたい。

犯罪被害者等支援条例について

問 犯罪被害者等支援条例の制定が、犯罪被害者等が受けた被害の軽減及び、回復に向けた取組の推進並びに、犯罪被害者等を支える地域社会の形成を図り、もって市民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することは間違いないと考えることから、この条例制定について市長の見解を伺う。

答 条例制定が市民が安全に安心して暮らすことができる地域社会を実現していくことにつながるから、他市町の取組等を参考に検討していく。



松宮 学
(日本共産党敦賀市会議員団)

インボイス制度導入について

問 インボイス導入直前になり、市内の飲食店や零細企業などの免税事業者に及ぼす影響はないのか伺う。

答 現時点では市内事業者において円滑に制度導入に向けた準備が進んでいるものと認識している。

問 全国のいろんな団体から、インボイス制度導入に中止や延期を求める声があるが、市長の見解を伺う。

問 国の動きも見極めながら、市としても事業者の不安を解消できるような対応を取っていきたい。

原子力発電所の問題について

問 敦賀2号機を動かすことに対し、市民は不安に思っている。再稼働しないよう国や日本原電に求めるべきと考えるが見解を伺う。

答 再稼働しないよう求めることは考えていない。



吉田隆昭
(無所属)

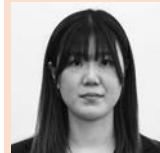
防災力の強化について(その2)

問 道路の冠水や床下浸水の予想をパソコンやスマホで知ることができるとのことですが、考えているのか。

答 デジタル化、スマホの利用などは考えていないが、浸水シミュレーションを行い、浸水がどの地域で起き、どの程度なのかなどの情報は提供させてもらう考えである。

問 要支援者対象の避難訓練は市全体として取り組むべきではないか。自分の家族が一番大切ではあるが、要支援者をほっといていいのか。この問題をどうやって解決していくのか。

答 市レベルの訓練に要支援者を対象とした避難訓練を組み込むことは可能。大きな課題は支援者の確保なので、あらかじめ個別避難計画を作成しておく重要性は変わらない。地域防災マップ作成支援事業、防災まちづくり講座を通じて啓発し、地域での声を掛けられる関係の構築、避難の課題の共有を推進していくことを引き続きやっていきたい。



橋本彬穂
(無所属)

生理の貧困について

問 生理用品が欲しくても言いづらい子や貰いに行けない子の為に、配布カード等を置くなど言葉を交わさなくても貰える対策はされているのか。

答 配布カードについて各学校の校長先生を通じて相談してみたい。

問 公共施設のトイレに生理用ナプキンを無料提供しているO i T r (オイテル)を敦賀市にも設置できないか。

答 現時点では計画していないが費用や条件など詳細を確認中。

つるが割について

問 今後もつるが割継続の考えはないか。

答 物価高騰や経済状況に応じて今後も継続していくか考えていく。



縄手博和
(市政会)

サッカー場の必要性について

問 平日の陸上競技場は、市民の方向けに一般開放をしているが学生向けに、学校の長期休暇中だけ使わせていただくことはできないか。

答 協議の結果、長期休暇期間中は、平日の2日間、火曜日と木曜日にフィールド内をサッカーの練習場で利用できるように調整を行った。

問 敦賀市が道の駅の新設を検討しているが、この道の駅に合わせてサッカー場を併設してはいいかがか。

答 サッカー場を含めた敦賀市に適した機能の検討を行い、それらを踏まえて市として整備の可否を判断してまいりたいと考えている。



山本武志
(市民クラブ)

次期総合計画について

問 市長が掲げる「敦賀のあたらしいステージを実現」を踏まえ、本市における地域ビジョンとは何か伺う。

答 新しい総合計画については、各分野の政策を連携させて好循環のうねりをつくり出すという事を考えている。そういったビジョン、全体像を分かりやすく伝えていきたい。

保育士のよりよい職場環境づくりについて

問 園児との個別の関わり方を深めるため、保育の準備に時間をかけたい、子どもの発達に合わせて保育したいという保育士の思いに込められる環境づくりに向け、保育士が本来業務に集中できるように、除雪対応などを他に委託する等の対応を講じられないか。

答 まだ外部に委託できる業務もあると認識している。引き続き、現場の声をお聞きしながら働きやすい職場環境の整備に努めてまいりたい。



龍太一郎
(無所属)

今後の介護福祉の在り方についてその2

問 介護への意欲、適正、能力を持つ人材が安定的に入職できるような体制づくりや、将来に向け、自身の専門性を高め、スキルアップできるキャリアパス制度の構築や、また独自の処遇改善費の創設等が早急の課題かと考えるが、今敦賀市においてそれらに対する市独自の取組の予定はあるか。

答 介護人材の確保や定着支援において、若手人材の確保や介護職のイメージアップ、定着支援のための環境整備については必要であることは認識しているが、現在、本市において介護業界のイメージアップに対する取組や介護人材がマッチングできるような仕組みづくりは行っていない。令和6年度介護報酬改定に当たり、引き続き国の動向を注視していくとともに、介護人材確保に向けた取組については、次期計画に向けて介護保険事業計画等策定委員会での意見なども踏まえながら検討してまいりたい。



大石修平
(市政会)

市役所の障がい者雇用について

問 障がいのある方を複数人雇用し、支援員のサポートをつけ、個人

の特性に合わせた働き方が取れ、その就労経験を活かしてステップアップしている場合を市役所内に設けられないか。

答 今後、障がいの者の社会参画を積極的に支援する立場から、これまで以上に採用を進めていく必要があると考えている。提案のような部署の設置も検討していく。

ふるさと納税について

問 寄附者による使い道指定をなくすとのことであるが、ふるさと納税の使い道をまず事業単位で示し、そこへ寄附を募る仕組みをつくれぬか。

答 寄附者の意向をどうやって反映するかについては研究の余地があると考えている。例えばクラウドファンディング的な運用もこれから研究し、寄附者と市民双方が望むようなまちづくりに使っていかれたらと考えている。



北條 正
(嶮正会)

西公民館移転と課題について

問 西公民館が移転するにあたって民間施設での緊急避難も必要に思うが対応策を伺う。

答 大規模災害時に住民の一時避難場所として屋内スペースなどを開放いただくことについて、地元と企業が災害応援協定を締結することを促進しているというものである。敦賀市として自治会と近隣企業の間に入り、橋渡しを行いつつながら、協定締結に基づき防災資機材の配備等についても、県とともに支援をしてまいりたい。

市立敦賀病院について

問 市立敦賀病院の老朽化や笹の川の洪水に対応して補助金が出る合併など敦賀病院の将来の在り方を問う。

答 医療の将来像について、合併などそれぞれの医療機関の考え方も重要であり、再編ネットワーク化など、慎重かつ着実に議論を進めていきたいと考えている。



高城庄佑
(市政会)

ふるさと教育について

問 民謡踊りを教える学校が減ってしまった理由はなにか。

答 コロナ拡大により中止となった学校があるほか、プログラミング教育や外国語教育、防災安全教育などの充実を図ることになり、限られた時間の中でこれまで以上に多くの内容を教育課程に取り入れなければならないようになったため。

敦賀市総合運動公園陸上競技場の利活用について

問 陸上競技場の夜間開放と、夜間により安全に運動するためのナイトー等の施設整備の計画について伺う。

答 陸上競技場は、生涯スポーツ活動の拠点の一つとして、体力向上と健康増進に寄与し、スポーツを通じて敦賀市に楽しく住んでもらえるための施設であると考えており、社会人をはじめとして市民の皆様が可能な限り利用しやすいように環境整備を進めていく。

★★議会だよりアンケートにご協力お願いします★★

今後の紙面構成の参考にさせていただきますので、以下のQRコードよりご協力をお願いいたします。



みなさんのご意見を
お聞かせください。

議会日誌

令和5年7月12日以降の主な議会活動の紹介です。

7月

- 21日(金) 文教厚生常任委員会
- 24日(月) 議会運営委員会
- 25日(火) 広報広聴委員会

8月

- 1日(火) 文教厚生常任委員会(所管事務調査)
- 18日(金) 議会運営委員会行政視察
- 21日(月) 廃棄物対策特別委員会(現地調査)
- 25日(金) 産経建設常任委員会
- 28日(月) 広報広聴委員会
- 29日(火) タブレット導入検討ワーキング
- 31日(木) 産経建設常任委員会(所管事務調査)

9月

- 1日(金) 議会運営委員会
- 8日(金) 議会運営委員会、全員協議会、本会議(開会)
- 11日(月) 予算決算常任委員会全体会・分科会
- 15日(金) 広報広聴委員会
- 19日(火) 本会議(一般質問)
- 20日(水) 本会議(一般質問)
- 21日(木) 本会議(一般質問)
- 22日(金) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会
- 25日(月) 原子力発電所・新幹線対策特別委員会
- 26日(火) 廃棄物対策特別委員会
- 29日(金) 予算決算常任委員会全体会(決算基本質疑)

10月

- 2日(月) 予算決算常任委員会分科会(決算審査)、産経建設常任委員会
- 3日(火) 広報広聴委員会
- 5日(木) 予算決算常任委員会(採決)、各派代表者会議
- 11日(水) 議会運営委員会、全員協議会、本会議(閉会)
- 16日(月) 総務民生常任委員会行政視察(～18日)
文教厚生常任委員会行政視察(～18日)
- 19日(木) 広報広聴委員会
- 20日(金) 福井県市町議会議員合同研修会
- 23日(月) 産経建設常任委員会行政視察(～24日)
- 27日(金) 議会運営委員会行政視察

11月

- 2日(木) 広報広聴委員会
- 15日(水) 議員研修会
- 16日(木) 議会報告会
- 17日(金) 出前議会報告会
- 20日(月) 出前議会報告会



敦賀市議会ホームページにアクセス!

以下のような情報を公開しています

- ・過去(平成31年から)の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

https://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/shigikai_top.html

敦賀市議会 検索

電話: 22-8157
Eメール: gikai@ton21.ne.jp
住所: 敦賀市中央町2丁目1番1号
発行所: 敦賀市議会
委員長: 中山道
副委員長: 山本恭子
委員: 山本貴志、三田武志、橋本彬、河瀬穂、大石太一、川端耕一
広報広聴委員長: 川端耕一

編集委員



12月定例会の日程(予定)

11 November ~ 12 December 2023

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
11/19	20	21 告示日	22	23	24	25
26	27	28 本会議 (議案説明・質疑)	29 予算決算 常任委員会	30	12/1	2
3	4	5	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9
10	11 常任委員会	12 特別委員会	13 特別委員会	14 予算決算 常任委員会	15	16
17	18	19 本会議 (報告・採決)	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30